

# みなりハ

第13号  
発行日2015.4

新年度を迎え、春の優しい日差しを感じられる季節になりました。昨年度“つながりリハビリテーション”をテーマにお届けした『みなりハ』ですが、今年度は訪問リハビリへとつながりさらに生活が活動・参加の場面へとひろがっていくことを支援したいという思いから、“ひろがるリハビリテーション”をテーマに様々な情報や取り組みをお伝えしていきたいと考えています。

“ひろがる”と言っても、その内容はご利用者様によってそれぞれです。私たちの思うひろがるとは・・・現在の生活を見直すことから始めて、右図のように出来る活動を増やしたり、色々な場面へ参加していくことと考えております。そこで今年度は、現状に満足せず頑張っておられる方々を紹介させて頂き、皆様の新たなステップに対する意欲をかきたてられる内容になるよう、本誌を発行していこうと思っているので楽しみにして頂ければ嬉しく思います。



いきなりですがご相談です！今までも自分なりの思いや目標を持ちリハビリに取り組みられてきたことと思います。納得のいく成果が得られ、新たな目標に向かって頑張りたいと考えている方や、現状を維持できている方、思うように進んでいない方など様々だと思えます。そこで新年度となるこの時期、改めて私たちと共に明確な目標を立て新しい生活へとひろがる時期にしてみませんか？スタッフ一同、皆様の思いに応えられるよう、今年度も一生懸命頑張ります。

◎ たとえばこんな考え方！

—ご本人様の3ヶ月後の目標—  
公園で近所の方とお話がしたい

—ご家族様の思い—  
もう少し外に出てほしい

短期目標  
継続して自主トレを行う

中期目標  
訪問リハで屋外歩行

長期目標  
家族の付き添いで散歩

## 「家の仕事のお手伝いがしたい」

今回は〇〇市在住のAさんです。Aさんは2年前に当院回復期を退院されご自宅に戻られました。ご自宅では、可能な限り以前のように家事を行いたいと、私たちと一緒に動作の練習を行いながら、食事の用意や掃除、洗濯までほぼお一人で行う事が可能になりましたが、もう一つの思いをお持ちでした。それはご自宅で行われている『自営業のお手伝い』がしたいというものでした。

屋外歩行が可能なAさんは、郵便局などへの入金処理や事務所の掃除などが行えるようになり、私たちとパソコンの勉強をし金銭出納帳を管理するまでになりました。今では税理士に提出する書類を作成されるほどになりました。Aさんの次の目標は、従業員が事務所を留守にした際、『電話番』を行うことです。現在、右手に麻痺のあるAさんは、左手で電話を受けながら素早く右手でメモすることが苦手です。そこで、何とか電話対応をしたいというAさんの思いを実現するべく、私たちは右手で受話器を持ち耳にあてることと、スマートフォンのような電子機器を使いメモすることを提案させて頂きました。相手の話を全て記録することは難しいですが、キーワードや単語だけでも記録することができれば、従業員が戻ってきた際にも間違いなく報告することができると、Aさん自身も『やってみよう』という気持ちになっていただくことができました。今はまだ訪問リハビリの時間に、機械そのものの使い方を覚えようとしておられる最中ですが、『使っていないと覚えられないから』と、意欲的になられています。

新年度となった4月。新しい気持ちで、Aさんのように目標を見つけ、私たちと共に取り組んでみませんか？皆様の生活がより充実したものになるように、お手伝いできれば幸いです。



### 【重要なお知らせです】

平成27年度介護保険制度の見直しにより、ご利用料金に若干の変更がございます。詳細は随時各担当よりご報告させていただきます。